

会社沿革

昭和 34 年 12 月	東京都千代田区丸ノ内 1 丁目 6 番地（海上ビル内）に資本金 1 千万円をもって埼玉産業開発株式会社を設立。
昭和 36 年 2 月	埼玉県熊谷市大字大麻生字下大境の荒川筋に月産 5 万トンの熊谷工場を建設。 荒川水系の砂利、荒目砂の生産を開始。
昭和 40 年 3 月	荒川河川砂利の採取禁止に伴い民地陸砂利開発に移行。
昭和 46 年 2 月	建設省の意向に従い工場を現在の埼玉県熊谷市大麻生 1 2 3 6 番地に移転、月産 7 万トンの現工場を建設。
昭和 47 年 2 月	本社を東京都千代田区飯田橋 4 丁目 1 番 1 0 号（越智産業第 2 ビル）に移転。
昭和 49 年 4 月	生コン販売を開始
昭和 52 年 1 月	生コン用碎石 20-05 の生産設備完成。コンクリート用 25 ミリ砂利、荒目砂、20-05 碎石を一貫生産。
昭和 54 年 5 月	増資により資本金 2 千万円となる。
昭和 61 年 4 月	ユニオンセメント（現太平洋セメント株式会社）の特約販売店となりセメント並びにコンクリート二次製品、 その他建設資材の取扱いを開始。
平成 1 年 5 月	創業社長越智喜三郎退任、越智耕作が代表取締役社長に就任。
平成 5 年 5 月	越智耕作が代表取締役会長に、川上英雄が代表取締役社長に就任。
平成 7 年 12 月	子会社草加コンクリート株式会社を吸収合併。
平成 8 年 7 月	越智産業株式会社より大麻生給油所の営業譲渡を受け、 株式会社ジャパンエナジー（JOMO）の特約店として、石油製品並びに自動車用品の販売を開始。
平成 9 年 5 月	越智耕作が名誉会長に就任。
平成 12 年 5 月	川和卓が代表取締役社長に就任。
平成 14 年 1 月	営業部を埼玉県大里花園町荒川 3 5 番地 第一石産運輸株式会社埼玉事業部内に移転。
平成 14 年 5 月	越智良幸が代表取締役社長に就任。
平成 16 年 7 月	本社を東京都千代田区飯田橋 2 丁目 2 番 1 号（越智産業第 1 ビル）に移転。現在に至る。